



中:今度は私に同行してもらえるかのお。

加:おととと、弁護士を呼ぶ権利も黙秘権もない奴ですねえ。。

中:今度はテレビで見たことがある女性なんじゃけどね。

加:まさかお天気お姉さんっすか?

中:ピンポ〜、大正解!

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆
と言うことで今回は、NHK広島放送局の気象キャスターであるアカシア89回勝丸恭子さんにお話を伺いました。

中:いよいよ今年は母校創立110周年ですが、記念行事の司会をお手伝いいただけるそうで、ご協力に感謝します。さて、早速ですが、高校時代の思い出からお聞かせてください。

勝:地元の中学校から附属に入った時に内部生を見て、何だか大人っぽいなと思いました。ものすごく自由で、自分のやりたいこととか好きなこととかはっきりしている人が多くて、そういうのを突き詰めたい人がいるのに、私は何て子どもっぽいならう、と。それから見えない所で密かにちゃんと勉強している人が多かったですね。それからなんとといっても一大イベントの体育祭が一番の思い出の一つです。写真を持ってきました。

加:マスゲームですか?

勝:はい。3年間ずっと白軍でした。まだ始発が動いていないような暗い時間に学校に行って朝練しましたね。



中:今だから言えるエピソードは?

勝:附属に入って授業中に寝ることを覚えました。(笑)。進学についてですが、実は数学の先生になりたかったんです。それなのに数学が苦手になってしまって、センター試験だけで突破できる横浜国立大学を受験しました。教員

免許は何とか取れました。あきらめなかったというよりもあきらめ時がわからなくて最後までいった感じでした。

加:先生にはならなかったんですね。

勝:はい。私は世の中のことを知らなすぎると思って一旦あきらめました。代わりに何かを生み出す仕事をしたなと思って就職活動しました。

加:当時は氷河期でしたよね?

勝:そうですね。私は3年生の秋に始めて、4年生の5月頃に広島テレビから内定をもらいました。

中:テレビ局はどんな仕事でしたか。

勝:最初はズームインSUPERの中継を広島から出すという部署でした。肩書きはディレクターで、裏方の仕事です。報道記者も勤め、あちこち現場に出ていました。事件や事故など、胸の痛い現場もありました。ズームインSUPERの頃は、早朝に現場でセッティングを完了させるため午前2時出発とかありました。しんどかったけど楽しかったですね。

加:よく身体がもちましたね。

勝:当時は寝なくても平気だったし、どこでも寝られたし、体力がありました。そんなことを約5年やりました。

中:気象予報士になったいきさつを教えてください。

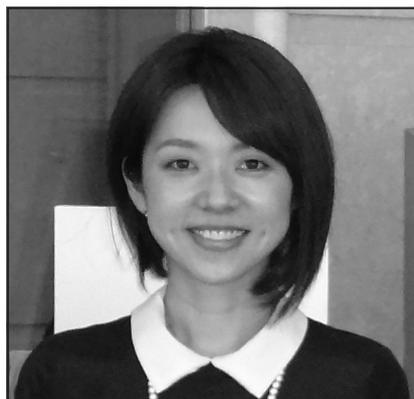
勝:広テレを退職してから趣味で勉強を始めました。報道やディレクターの仕事ではあれこれ幅広く扱ってきたので、専門的なことを何か一つやり遂げたいな、じっくり勉強してみたいなと思っていました。それで興味が持てることはお天気かなと。昔から自然とか空とか好きで、やりはじめると次第にはまっていった感じでした。

中:気象予報士になるための勉強で大変だったんじゃないですか。

勝:そうですね。合格率が4~5%と言われていて、半年に一度試験があって、私は3回目で合格しましたが、1日に10時間くらい勉強しました。私は通信教育だったのでテキストを暗記したり、赤ペン先生に添削してもらったり。通信教育を最後までやり遂げたのは人生初でした。

加:最後までやり遂げられた原動力は何でしょう。好きなことだったから?

勝:そうですねえ。やっていくうちに好きになったというのはありますね。それ以上に先の見通しがいいまま仕事を辞めてしまったので、余計に中途半端なことは出来ないと思って貫き通した



P r o f i l e

昭和55年4月24日安芸郡海田町生まれ、平成8年海田西中学校卒業、11年広島大学附属高等学校卒業、15年横浜国立大学教育人間科学部卒業。地元広島に帰り、民間放送局に就職。記者やディレクターを務める。退職後に気象予報士の資格を取得。

平成22年4月~NHK広島 気象キャスターに。「おはようひろしま」「ひろもり」気象コーナーを担当。24年4月~現在「お好みワイドひろしま」「ひろしまニュース845」を担当。防災士の資格も取得し、自治体開催のフォーラムや市民講座での講師も務める。趣味はカーブの応援、季節の変わり目のおいを楽しむこと。

◆ウェザーマップ所属
<http://www.weathermap.co.jp/casters/katsumaru.php>
◆かつまるきょうこのお天気ブログ(NHK広島HP)
<http://www.nhk.or.jp/hiroshima/okonomi/blog/new/index.html>
◆Twitter ID kkatsumaru

感じでした。年齢的な焦りみたいなものもありましたね。

中:テレビ局に未練は?

勝:テレビの仕事辞めたんですけど、伝えることは面白くて好きだなと思っていました。そして資格を取る中で次第に天気の仕事になればいいなと思うようになりました。実は今のよう表に出るつもりはなかったんです。裏で原稿を書いたりするような仕事を思っていたのですが、たまたまNHK広島放送局でキャスター募集があって採用いただきました。

加:NHK広島放送局の気象予報士なのにウェザーマップ所属なんですね。

勝:はい。テレビで見かける多くの気象キャスターは、「気象会社」に所属しています。



加:月例会の卓話ゲストの時に気象

情報の画面上に並ぶアイコンが日替わりだという話をされてましたよね。

勝：はい、そうですね。伝えたい内容に合わせて選んでいくのは楽しいですよ。実は先日、夏休みで2週間放送を休ませていただきました。休みが終わって仕事に戻った時、なんて楽しんだらうと改めて思いました。何をやっても楽しいな？と(笑)

中：反対に辛いこととかくじけそうになったことはありませんか。

勝：8月の大雨の時は辛かったですね。本当にくじけそうになりました。ピンポイントで予想できない集中豪雨だったとはいえ、もっと何かできたことがあったんじゃないかと思って。普段から防災士としてもっと防災の話をしておけたんじゃないか、とか。

中：放送中に頭が真っ白になったり失敗したということはありませんか。

勝：そうならないように、手元に原稿を置いてあります。でも、たまたま手元に無い時に限って真っ白になってしまったということはありませんね(笑)

加：原稿を覚える時間は何分ですか？

勝：今はほとんど時間をかけていません。というのも自分の言いたいことをメモにしているだけなので、原稿通りに読むようなことはありません。どんな言い方でもいいから自分の言いたいことが言えたらいいと思っています。

加：気象情報に季節の話題などを入れたりするのは自分で選べるんですか。



勝：はい、私が考えています。自分の中に蓄積されている情報を引き出したり、足で歩いて見つけた情報だったりします。

加：ブログのネタ探したいですね。

勝：そうそうそう(笑) 私は取材中に見つけたことや放送の裏話などを、NHKのブログに書いています。ほぼ毎日更新を頑張っています。

加：ちなみに服装はテレビに出るようになって変わりましたか？

勝：すっかり変わってしまいました！！好きな色は茶・黒・灰色…だったりしましたが、それではテレビ画面が暗くなります。特に男性アナウンサーは黒とか紺が多いですから、隣に並ぶと余計に暗くなります。だから普段私はあまり着ないけどな？と思いながら明るい色のものを選んでたり揃えたりします。そう考えたら服装の趣味は変わったかも知れませんが。

加：好きでというよりも、変わらざるを得なかったという感じですね。

勝：そうですね。周りの人やその日の天気にあわせて服装を選んでます。

中：街で声を掛けられたりしませんか。

勝：だいたい50代以上くらいの方が多い感覚です。いつも見よるよ！と言われるとうれしいですね。若い方はあまりNHKをご覧にならないでしょうか？？笑

中：それでは在校生にメッセージをいただけますか。

勝：附属で学んだことというと、やはり自由を手にするためには責任が必要なんだということです。責任が持てないと規律を課されてくるんですね。だから自由であるためには責任をきちんと果たしていかなくてはならないんですよ。それはやるべきことをきちんとしてきた先輩方があったからだと思いますが、附属に入って一番、すごいなと思ったことです。

中：気象予報士として何か一言お願いします。

ます。

勝：もう少し空と仲良くなって色々なことに気付く力を持ってもらえたらいいなと思います。空を見上げたり、天気予報に少し興味を持ってもらうことで、「異変に気づく」はやさがいづらか変わってくると思うんです。そのためにも、楽しんでもらえる、役立つ天気予報を目指して頑張ります。

中：アカシアの先輩方にもお願いします。

勝：おかげさまで今いろいろな所で講演に呼んでいただいたりするんですが、アカシアの方にたくさんお会いさせていただいています。本当にいろんな分野でご活躍されていらっしゃるんだなと改めて思っていますし、ありがたいことだなとも思っています。

加：最後に何かひと言PRをどうぞ。

勝：ぜひテレビとブログを見てください。夢は、ズムスタでの始球式です！(笑)

中：それならこれをご覧になった先輩方に叶えてもらえるかも知れませんよ。今日はどうもお忙しい中をありがとうございました。

.....

加：えらくご近所でしたね、今回は。

中：次はどうなるかわからんで。

加：謹んでご遠慮させていただくというのは難しいんですかねえ。。。

中：どうにも逃げられやせんのじゃけえ、ええかげん素直にあきらめんさい(笑)

中本泰弘 (65回)

加用雅信 (80回)



左より 中本泰弘(65)、勝丸恭子氏(89)、加用雅信(80)

TATESHIBA

タブレット学習システム
スタディネット
STUDYNET

BIG PAD

株式会社 立 芝
http://www.tateshiba.co.jp